

全医労青年部ニュース

全日本国立医療労働組合

2017年3月13日発行

No.15

新人さんの傾向を知り、 新歓に向け加入訴え方を議論

～関信地方協青年委員会～

3月1日に関信地方協青年委員会が開催されました。これから入ってくる新人の傾向、どうやったら加入につながるかなど新歓に向け活発な議論がありました。最近若い人は「さとり世代」と言われているようです。大きく3つの特徴について載せます。

①「対立が嫌い」：組合で争っているとか師長が悪い奴だとかどつちかにくくといじめにあうかもしれないという恐怖がある。新歓マニュアルに書いてある通り「施設と協力してやっている」とアピールしたほうがいい。いまの子は交渉が怖い。

②「無欲」：携帯さえあればいいなど。自分の安全が第一と感じている子が多い。

③「自分の時間が一番大切」：例…友達と会ったりしたくない。そんな時間があったら一人でのんびりしたいと思っている。LINEがちょうどいい。組合が忙しいなどのことを発すると自分の時間がなくなってしまう。

新人の傾向について話し合ったあと、

去年の新歓を振り返って、この春の新歓をどう成功させるか話し合いました。

去年の新人さんにお金のことについて聞いてくる人がいた。奨学金の関係など聞いてきた。医労連共済の話を盛り込んでみるといいかもしれない。支部では役員さんが「入りなさい」といって入ったところもあるが、その後、青年が中心となりフォローをしっかりとしないといけない。

雰囲気づくりが大切！青年が中心となって交流する！説明会場の設営。加入率低い支部はスクール形式でしたら加入が上がったなどの意見があった。島、テンプルの方がフレンドリーな感じもあるからどちらとも言えない。対立が嫌いだから誰か一人入ると加入につながる。逆に盛り上がると引くという新人もいる。加入したときに大いに盛り上がると引く新人もいる。適度に「ありがとう」「おめでとう」「よろしくね」というのがいいのでは。組合に少しでも触れる機会が必要。説明会当日であれば、説明会后すぐ解散するのではなく、ちよつとでも話したりなど。終わったあと少しでも自分の病棟の子や新人さんに少しでもいいから話すことが大切。第二弾、第三弾を計画し、組合活動に触れてもらはないと何をしているかわからないため、当日加入しても脱退があとに出てくるなど色々な意見交換をしました。

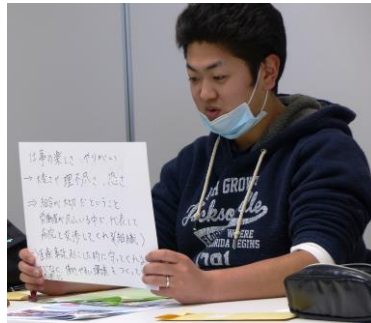


裏面も新人さんへ加入訴えメッセージ
を書いてあるからチェックしよう！

新人さんへ加入訴えメッセージ

後半の話し合いでは新人さんにどうい訴えをすれば加入にいたるかを議論しました。話し合った内容を載せます(〇)／

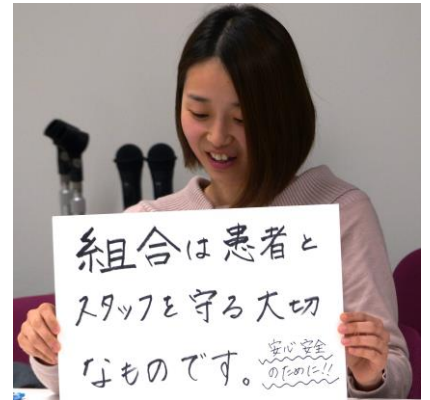
新人はまだ職場をしらないため、現状わからない。職場のやりがいや楽しさをいう。仕事の怖さで医療事故についていう。それをふまえ組合が大切と伝える。「医療事故を守ってくれるだけでなく、働きやすい環境を作っていくために、あなたのちからとあなたの加入が必要です」



前回加入に至った事例「呼吸器がいっぱいあるからインシデントに繋がりやすい。ベテランより新人のほうが知識も不足しているから保険で入ったほうがいい」と伝え、加入に至った。



組合は楽しい2割。大切8割。何で組合に入っているか「守ってくれる、安心感の中でやっていると仕事の充実感がある、生活でもお世話になっている、医労連共済にもお世話になっている」。今年は第2弾で青年を集めてボーリングをやりたいと思う！



自分の主観。最初宗教だと思っていたが、宗教ではない。自分を守るため、楽しく働くためのお守りだ。働いていて改めて自分の職場のことを聞いて、いい職場にしていこうと伝える。

新人さんを
たくさん加入して、
職場の問題を
解決しよう！

